

## 原 稿 執 筆 要 領

### 1. 原稿構成

- 1) 投稿原稿の構成は原則として以下の通りとする。
  - (1) 抄録：研究の「背景」, 「目的」, 「方法」, 「結果」, 「結論」に分け, 見出しをつけて記述すること。(1,000字以内)。
  - (2) キーワード：6語以内。
  - (3) 論文内容
    - I. 緒言（研究の背景・目的）
    - II. 方法（研究, 調査, 実験, 解析に関する手法の記述, および資料・材料の集め方など）
    - III. 結果（研究等の結果・成績）
    - IV. 考察（結果の考察・評価）
    - V. 結語：結論
  - (4) 文献：文献の記載は, 2. 8) に従う。
- 2) 原稿に表紙を付し, 上半分には表題, 英文表題（すべて大文字とする）, 著者名（ローマ字も入れる）, 所属機関名, 図, 表および写真等の数を書き, キーワードを日本語・英語でそれぞれ6語以内記載する。  
下半分には赤字で希望する原稿の種類, 印刷必要部数, 編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名などを付記すること。
- 3) 和文論文の場合は250words前後の英文抄録表題, 著者名, 所属, 本文の順にダブルスペースで記述すること。
- 4) 英文論文の場合は400字程度の和文抄録表題, 著者名, 所属, 本文の順にダブルスペースで記述すること。

### 2. 執筆要領

- 1) 原稿は原則として, パソコンで作成する。
- 2) 原稿はA4版横書きで, 明朝体（英文はCentury), 11ポイント, 1頁1200字（40字×30行）になるように作成する。
- 3) 原稿は, 原則として, 新仮名づかい, 当用漢字を使用する。
- 4) 外国語はカタカナで, 外国人や日本語訳が定着していない学術用語などは活字体の原綴りで記述する。
- 5) 数字は算用数字を用い, 単位符号は原則と

してSI単位（kg, mg, mm, ml, kcal, °Cなど）を用いる。

- 6) 国際的な共通語を使用し, 略語や符号などは一般的に認められている略語, 符号等に関しては, 初出時に簡単な説明を加える。
- 7) 図・表および写真は, それぞれ図1, 表1などの通し番号をつけ, 本文とは別にまとめ, 本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。
- 8) 文献の記載方法は下記に従う。
  - (1) 文献については, 本文中に著者名, 発行年時を括弧表示する。
  - (2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。  
但し, 共著者は3名までを表記する。
  - (3) 記載方法の例示
    - ① 雑誌掲載論文
      - ・著者名（発行年次）：論文表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻（号）ハイフンをはさみ最初と最後のページを記入。
    - ② 単行本
      - ・著者名（発行年次）：論文の表題, 編者名, 書名（版数）, ページ数, 出版社名, 発行地。
    - ③ 翻訳書
      - ・原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）, 翻訳書の書名（版数）, ページ数, 出版社名, 発行地。

（2012年4月18日修正）